

section

1

本番面接のマナーやルールを把握しよう！

☆☆☆☆

1

まずは身だしなみからチェック！

本書でも公務員の面接試験は『印象が大事』だと何度も言ってきましたが、この印象部分に直結するのが『身だしなみ』です。間違っても『身だしなみ』の部分で悪い印象は与えたくないですね。

基本的に公務員の面接試験には「スーツ」で臨むことになりますが、身だしなみで気を付ける点は、『髪型』『顔(メイク)』『スーツ』『爪』『靴』の5点です。面接官も服装や身だしなみについて、細かくチェックしているわけではありませんが、『印象』には大きく影響してくるので、ポイントは把握しておきたいところ！

まあ基本的にはちゃんとした格好をしていればOKなのですが、何が正しい服装なのかわからないと不安ですね！今回は、男性用と女性用でそれぞれチェックポイントを用意したので、皆さんは今のうちにチェックしておきましょう！

また、公務員の面接試験シーズンというのは主に夏になるので、この季節にある面接試験では「クールビズ」を使用して構いません。というかクールビズを推奨します！面接官も他の受験生も皆クールビズですし、上着を着ていると見ている方が暑苦しくてしょうがないですからね。

一応、クールビズの注意点だけ簡単に紹介しておきます。面接会場は節電等の影響もあり、かなり暑いです。長袖のシャツを着用する場合、シャツの袖を折らないよう注意する必要があります。また、Yシャツは白いため、下着の色が目立ちます。下着は白いものを着用するよう心がけましょう。

【身だしなみチェックリスト(男性)】



ヘアースタイル

- 長髪、茶髪はNG
- 寝ぐせはついていないか
- 顔がすっきり見えるか
- 髪型に清潔感があるか

顔

- ヒゲの剃り残しはないか
- 眉毛は整っているか

スーツ

- スーツの色は黒・紺・グレーか
- ネクタイは派手じゃないか
- ネクタイの曲がり、緩み、長さは大丈夫か
- 上着、シャツともにシワがなく清潔であるか
- シャツの襟・袖口の汚れは大丈夫か
- シャツは白、下着は白無地のものか
- ベルトは装飾のない黒、濃茶か
- スーツの一番下のボタンは開けたか
- ズボンは折り目をつけたか

爪

- 爪は切ったか

靴

- 靴下は暗色か
- 靴は黒で磨いてあるか

※クールビズの場合
ノーネクタイ
ノージャケット

【身だしなみチェックリスト(女性)】

ヘアースタイル

- 髪型は黒で清潔感があるか
- 長い場合は結んであるか
- 前髪は顔がすっきり見えるように切るか留めるかしてあるか

顔

- メイクはナチュラルか
- アクセサリーは付けないのが無難

スーツ

- スーツの色は黒・紺・グレーか
- 胸元の開きすぎるシャツはNG
- 上着、シャツともにシワがなく清潔であるか
- シャツの襟・袖口の汚れは大丈夫か
- シャツは白、下着は透けてないか
- スカート(の場合)は膝が半分隠れるくらいの丈か
- ストッキングは履いたか(生足はNG)
- ストッキングは肌色か
- ストッキングは伝線してないか

爪

- 爪は切る、マニキュアはしない

靴

- パンプスは黒色か
- ヒールは3~5cmがベスト

※クールビズの場合
ノージャケット



☆☆☆☆

2 前日までに準備するもの & 当日の持ち物を紹介!

面接試験前日までに準備しておかなければいけないこともあります。例えば、散髪1つでも、直前になって美容院がやっていなかった...なんてことになったら困っちゃいますよね!

何事も早め早めに対策するのが公務員試験のコツですから、必要なもの(こと)は余裕を持って準備しておきましょう!持ち物や持っておくと便利なものを紹介しますが、**基本的には受験先から指定されている書類や持ち物だけ持っていけば問題ありません。**

一応、『前日までに準備するもの(こと)&持ち物』『カバンに入れるもの』の**テンプレチェックリスト**を次のページで紹介しているので、実際に面接試験を受ける前にチェックしてみてくださいね!

(※受験先によって必要なものは異なります)

特に公務員の面接試験は夏+庁舎が暑いということで『扇子』や『タオル』『うちわ』などを持っていくことをオススメします。

また、とある自治体の面接試験では、当日に受験票のキリトリ線を自分で切ってくれと言われることもあるので、ハサミや定規、ホックキス等の文房具を持っておくと、いざというときに困りません。受験生から、「受験票を手で切ったらボロボロになっちゃいました〜(泣)」って言われることもありますので、皆さんは気を付けて下さいね(笑)



せんせいが紹介してくれるヤツは『**基本的な持ち物**』と『**基本的な準備項目**』ということだね!チェックリストだけど、オススメだけで全部持っていく必要はないってことね。



そういうこと!
一般的に持っておくと便利なものや準備しておかないといけないものについてのチェックリストだよ!

【前日までに準備するもの&持ち物】

前日までに準備

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> スーツ | <input type="checkbox"/> 現金 |
| <input type="checkbox"/> ネクタイ | <input type="checkbox"/> 時計 |
| <input type="checkbox"/> シャツ | <input type="checkbox"/> ハンカチ・ティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 靴下(男性) | <input type="checkbox"/> 印鑑・証明写真 |
| <input type="checkbox"/> ストッキング(女性) | <input type="checkbox"/> 受験票・合格通知書等 |
| <input type="checkbox"/> 靴 | <input type="checkbox"/> 身分証明書・学生証 |
| <input type="checkbox"/> カバン | <input type="checkbox"/> 筆記用具・メモ帳等 |
| <input type="checkbox"/> ヘアースタイル(散髪) | <input type="checkbox"/> 卒業見込・成績証明書 |

【カバンに入れるもの】

カバンにいれるもの

- 印鑑・証明写真
- 受験票・合格通知書等
- 身分証明書・学生証
- 筆記用具・メモ帳等
- 卒業見込・成績証明書
- 面接カードのコピー
- 面接対策ノート等
- 志望先のパンフレット等
- タオル・扇子
- 時事対策本・新聞等
- その他(傘、薬、鏡、ストッキングの替え(女性)等)

3 言葉遣いに注意!

皆さんは言葉遣いに自信がありますか? 初めに言っておきますが、言葉遣いというのは面接官への『印象』に大きく影響するので注意が必要です! 私も受験生と話す機会が多いのですが、ビジネス的な言葉(気)遣いが出来てない方が多いように感じます!

特に目立つのはLINEやTwitter等のSNSでのやりとりですね。面白いことに、このような電子的なメッセージのやり取りだけでも、その受験生が受かりやすいタイプか受かりにくいタイプかわかっちゃったりするんですね! まあ公務員の面接試験では、私も言葉遣いについてそんなにうるさく言うつもりはありませんが、相手を気遣う基本的な敬語くらいは喋れるようになって欲しいなと思います。

また、ビジネスの世界では相手にどれだけ気遣えるかが重要になってきます。例えば、目上の方や他人に『確認したらメールを送ってほしい』とメールで伝えたかったとします。さあ皆さんなら相手に何と書いてお願ひしますか? 「確認できたらメールで連絡ください」と回答した方は赤信号、「確認できましたらメールを送っていただけますか」と回答した方は黄色信号です。じゃあ何が青信号なんだって話ですが、例えば私なら、相手の名前、自分の名前等を書いた後、『お手数をおかけしますが、確認できましたらメールでご連絡いただけますでしょうか』と、これくらいの敬語で返します。もっと丁寧と言おうと思えばいくらでも丁寧出来るのですが、今回はこれくらいにしておきます...(汗)

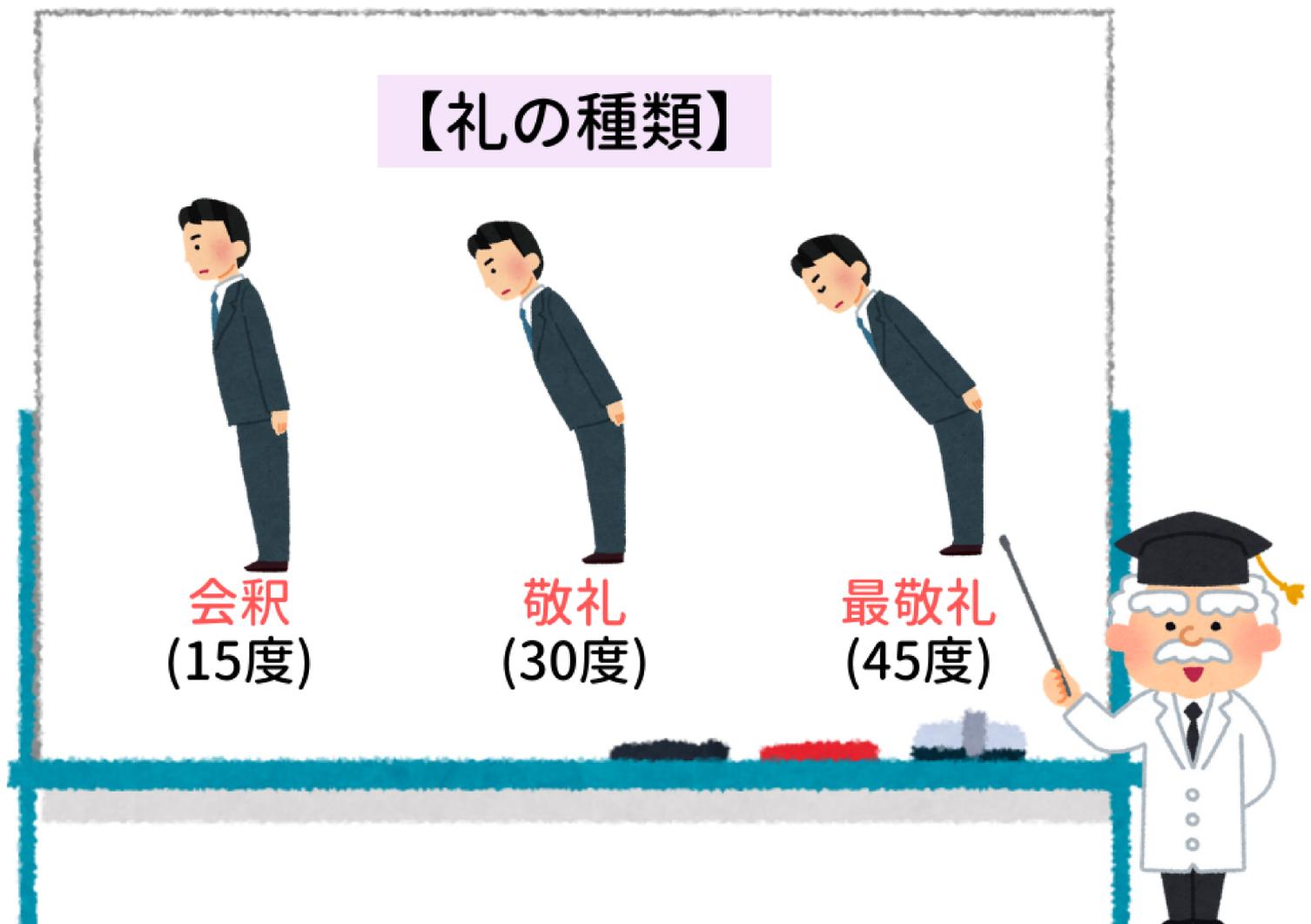
ポイントなのは、「ご多忙中と存じますが」「差し支えなければ」など、最低でも相手を気遣う言葉をいれて『申し訳なさ』を演出しなければいけないというところですね。社会ってホントめんどくさい! でも、このように相手を気遣う言葉遣いや、相手を気遣う行動が出来る人間というのは社会性(コミュ力)が高いということで、面接でも高く評価されます。まあいきなり実践するのは難しいと思いますので、皆さんも日頃から意識して生活してみてもいいかがでしょうか。

入退室時のマナーや面接の注意点！

入退室時の流れとマナーについて

入退室時の流れについて細かく解説していきますが、ぶっちゃけ『印象』が良ければどんな入室方法でもOKなので、基礎的な部分だけきちんと覚えておきましょう！「ノックを2回しかしなかった」「失礼しますと言うタイミングを間違えた」など、ちょっと間違えたくらいは全く気にしなくて大丈夫です。受験先ごとに多少ルールが違ったりするので、基本的には面接官の指示に従ってくださいね！

さて、皆さんは『礼』に種類があるのを知っていますか？正直ここまで細かく知っておく必要もないのですが、まず最初に『礼』について紹介しちゃいますね！



このように、面接で使う『礼』は3種類あります。男性の場合は手を横に、女性の場合は手は前に（おへその下あたりの位置）組みましょう。では、これから入退室の流れ・マナーについて紹介していきますので、『礼』の部分にも注目してみてくださいね。いきますよ～！

【入室の流れ】

STEP 1

ドアをノックする。2回でも3回でもOK!

STEP 2

面接官が「どうぞ」と言ったら「失礼します」と言ってドアを開ける。

※ドアノブは両手でゆっくり開ける。

※開けた時に面接官と目があったら会釈をする。

STEP 3

ドアを両手で丁寧に閉め、ドアの前で「失礼します」と言って一礼(敬礼)をする。

※「失礼します」と言いながら頭を下げるのではなく、言い終わってから頭をさげましょう。

STEP 4

指定されたイスの横に立ち、受験番号と名前、「本日はよろしく申し上げます」と言い、一礼(最敬礼)をする。

※イスの横に立った時点で面接官に何を言うか指示されることがあります。

※基本的にはこの通りに実践してもらえれば大丈夫です。

STEP 5

面接官に「おかけください」と言われたら「失礼します」と言い、着席する。

※座る姿勢に注意! 椅子の3分の2ほどの位置に座り、背もたれは使わず、背筋をピンと伸ばしましょう。

【退室の流れ】

STEP 1

面接官に「これで終わります」と言われたら、立ち上がり、イスの横に立つ。

STEP 2

面接官に「ありがとうございました」と言って、一礼(最敬礼)。

※面接をしていただいたことへの感謝を込めて大きな声であいさつをしましょう！

STEP 3

ドアの前まで進んだ後、面接官の方に振り返り、面接官に「失礼します」と言い、一礼(敬礼)

※面接が終わった安心感から、何も言わずに出ていってしまう人もいます。印象が悪いので要注意！

STEP 4

両手でドアを開け、丁寧に閉める。

※できるだけ面接官にお尻を見せないようにドアをうまく開ける

※ドアを閉める際、面接官と目が合ったら軽く会釈をしましょう！

☆☆☆☆ 2 会場到着から面接試験は始まっている!

① 会場到着から面接試験だ!

『面接試験中に気を付けること』を紹介しようと思いますが、それ以前にまず注意しなければいけないのが、『**会場到着から面接開始**』ということです。

さすがに家を出てから面接開始とは言いませんが、最寄り駅やバス停に付いたところから試験は始まっていると思ってください。歩きたばこをしたり、大声で電話しながら会場へ向かったりと、当然このような行為はNGですよ!大変だとは思いますが、この日だけは常に見られていると思って、1日落ち着いて過ごしましょう。

② まずは服装を整えよう!

公務員の面接試験は夏に行われることが多く、最寄り駅から庁舎まで向かうだけで大量の汗をかいてしまったりするので、会場に入る前にまずは服装を整えましょう。そのため、遅くとも30分前には到着するなど、時間に余裕を持って行動するよう心がけてください。贅沢な話ですが、この日くらい駅からタクシーを使ってもいいんじゃないかなと私は思います。

③ 待合室でも見られている!

国家公務員の面接試験の場合は、待合室の人数が多いので、一人ひとりをそこまで細かくチェックすることはできませんが、官庁訪問(採用面接)や市役所等の面接試験の場合、待合室の人数が少ないというパターンが多いので要注意です。

ずっとスマホをいじっていたり、近くの受験生と大声で話をしたりと、このような行為はNGです。パンフレットでも面接対策ノートでも読んで、とにかく落ち着いて過ごしてください。